

# かつらぎ

祝  
結婚  
おめでとう

No. 86

2020.4.30

## 2. 令和2年度 一般会計予算総額 43 億円

勝浦病院改築事業 本格着工!

## 4. 議案審議 当初予算 / 補正予算

修正動議 200 万円追加

## 7. 追跡討論! 「どうなっとんで?」

議会でアレコレ決めたその後のハチシを追跡!

## 8. 徹底検証! かつらぎ創生総合戦略

## 13. 一般質問

## 23. ぶっちゃけどうなの? 広報モニター会議

## 24. 地域に活きるONE TEAM/ 編集後記

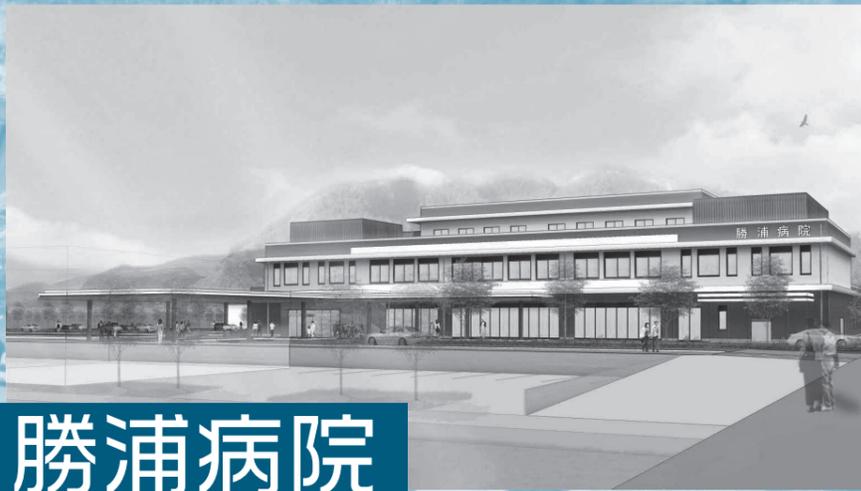
勝浦の地域医療を考える会



# 令和2年度

# 一般会計予算総額43億円

# 勝浦病院改築事業 ついに本格着工!



## 勝浦病院

今年度の勝浦病院改築関連工事費（一般会計繰出分）

# 3億7992万円

今年度予算総額7億5,834万円（勝浦病院特別会計継続費）

## 6次産業化推進事業

旧果樹研究所に食品加工室を整備し  
主にみかんを原料とした試作品（非販売）づくりによる6次産業の推進を図る

# 2554万円

## 発電機整備事業

停電時に役場庁舎1階部分の電力を  
自家発電で24時間程度まかなうために設置

# 4765万円

## 小中学校 情報通信機器購入

GIGAスクール構想で小中学校にタブレット端末78台等を購入

# 3498万円

<GIGA（ギガ）スクール構想>  
小中学校で、1人1台の学習者用タブレットや高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画をまとめたもの。文科省事業。

## かつらみらい創生補助金

町民満足度が高まり、新しい視点からの取組みである事業に補助する

# 300万円

(100万円増額)

## 勝浦町杉の子支援事業

故・溝田義昭氏から寄付された1000万円を原資に  
起業する町民に対して上限100万円を補助する

# 300万円

(3件予定)

3月ひな会議は、3月3日から19日まで開催し、令和元年度補正予算をはじめ、2年度一般会計予算、特別会計予算、条例改正等、26議案を審議し可決しました。  
また、一般質問に9人の議員が登壇し、町政に切り込みました。

# 当初予算

議案審議

## 防災・まちづくり

**住宅施策見直し**  
耐震・リフォーム重点化  
—— 住まい応援事業（一戸当たり上限100万円）を予算化しなかった理由は。

### 石木企画交流課長

住宅施策の見直しで、耐震事業やリフォームへの重点化を図った。

—— 1500万円の住宅が新築された場合、新築補助金と同額の100万円が固定資産税として勝浦町に納付される期間は。

### 藤井税務課長

約12年間である。

### 役場に発電機を導入 災害対策本部機能を強化

—— 庁舎耐震等建設改良事業とは。

### 岡本参事兼総務防災課長

災害時に対策本部の機能を維持するため、46.6kwの発電機（軽油）を4700万円で役場裏に設置する。庁舎1階のサーバーやパソコン等に、24時間は電力供給可能と



新しい駐車場予定地（久国）

なる。

### 合併浄化槽の整備補助金 増額

—— 合併浄化槽推進補助金の内容は。

### 松本上下水道課長

合併浄化槽整備をなお一層推進するため、新年度より単独槽の撤去費用9万円補助（従来3万円）、くみ取り槽の撤去費用10万円補助（従来3万2000円）それぞれ上乗せする。

—— 役場駐車場を拡張することだが、新年度の計画は。

### 山田副町長

用地購入、測量設計費として500万円を計上している。

—— 「恐竜のまち」のPRはどのような体制で取り組むのか。

### 笹山教育委員会事務局長

地域おこし協力隊を募集し、「恐竜のまちかつうら」を全国に発信してもらう。

## 教育・子育て

—— 「GIGAスクール構想実現」として、補正予算と2年度予算合わせて6800万円ほどが計上されているが、内容は。

### 教育委員会事務局長

児童・生徒に1人1台の端末を順次整備する予定である。令和2年度に生小23台、横小19台、勝中36台の合計78台のタブレット端末を整備する。今後、数年かけて全員に端末が行き渡るように計画している。

—— 子育て交流支援センターの利用者が減っている。2年度の取り組みは

### 木村福祉課長

開所時間を増やし、保育士免許を持っている支援員を配置することで充実させたい。

# 修正動議を可決 新築補助金200万円追加

新年度予算に住まい応援補助金が計上されておらず、一般質問等で説明を聞いたが、納得できる内容ではなかった。そこで、「移住・定住支援住宅改修補助金」700万円を500万円に減額し、「移住・定住支援住宅新築補助金」として200万円を追加する修正案を部議員が提案し、全議員が賛成。修正部分を含めた令和2年度一般会計予算を全会一致で可決した。

## 福祉・税金

### 社協の活動補助金 引継ぎ期間の再雇用のため増額

—— 社会福祉協議会活動補助金が増額になっている。何が原因か。

### 木村福祉課長

退職を迎える2人の職員の代わりに新たに2人採用する。引継ぎ期間として退職者を再雇用することによる増額である。

### 高齢者福祉事業の見直し

—— 敬老理念普及事業が見直しされ、「福祉のまち」としては残念に感じる。白寿（99歳）のお祝いの表彰を取り止め、福祉まつりでの表彰に変更するというが、参加は難しいのではないか。

### 野上町長

対象人口の増加を踏まえ、現在



白寿表彰

**可決**  
厚生年金制度への  
地方議会議員の  
加入を求める意見書  
全会一致で可決

## 可決

### 平石山鉦山への土砂 搬入中止を求める意見書

- 1) 平石山鉦山への大量の土砂搬入の中止を求める。
- 2) 上部残壁対策を優先して保全対策を行うよう業者に指導すること。
- 3) 現在の盛り土計画の凍結を求める。

住民より提出されていた「平石山鉦山への土砂の搬入中止を求める請願」の採択に向けて国や県、関係者からの聞き取りや議員間協議を重ねてきた。4400人あまり（町内外）の署名の重要性を考え、意見書として提出することにした。

## 反対討論

工事は法律に則って施工され、意見書では成果が出せない。安全を担保するために県の環境保全条例にかかる意見等で町の強い姿勢を示し、住民の不安を取り除くべきだ。



松田議員

## 賛成討論

地震で残壁上部が崩落すれば、落下した岩石で盛り土構造が損傷し、土が流出する恐れがある。無謀な工事計画で住民に危険が及ぶ。



仙才議員



意見書提出の様子

# 正 算 補 予

議案審議

教育・子育て

## GIGAスクール構想実現へ 小中学校 校内ネット整備

— 各学校の通信ネットワーク整備事業として3345万円が計上されているが、当初予算で対応できなかったのか。

### 笹山教育委員会事務局長

国の補正予算により「GIGA（ギガ）スクール構想の実現」に向けて、町内小中学校において校内通信ネットワークの整備を行

GIGA（ギガ）スクール構想  
小中学校で、1人1台の学習者用タブレットやネットワーク環境などを整備する文科省事業。GIGAは Global and Innovation Gateway for All 略

う。予算は繰越して、2年度早期に着手するために補正対応となった。

## ま ち づ ぐ り

町政要覧作成費が繰り越される等多くの事業が遅れている

— 当初予算で計上されていた町政要覧の作成費が繰越されている。このほかにも多くの事業が遅れ気味でないか。

### 石木企画交流課長

町政要覧のあり方や位置づけについて検討を重ね時間を要した。できる限り作成費用を抑え、目で変わったなと感じてもらえる要覧にしたい。

### 地籍調査 一般社団法人設立に 6000万円出資

現在、町内各所で実施している地籍調査事業を受託できる、一般社団法人「かつうら国土と未来振興協会」を上勝町とともに設立する。それぞれが6000万円を出資、勝浦郡内の地籍調査事業を受託する中で、郡内雇用の確保や人材育成、継続した発展を目的として事業を行う予定。

— 民間事業者でも課題を解決し、施工可能であると思われる。出資金の計上は止めるべきだ。

### 山田副町長

事業を同一事業者へ発注することによる業務の効率化やスピードアップを図りたい。人材育成が進めば、社団法人を解散し民間移譲することも想定している。



一般社団法人 開所式

### 賛成討論

社団法人を立ち上げてから調査完了まで30年掛かる。より多くの予算を確保し、実施地域を増やしてでも早期完了をめざすとの町長の説明を応援したい。



井出議員

### 反対討論

民間の領域に行政は踏み入れるべきではない。公共事業はできる限り、競争原理のもと発注されるべきで、住民に対しても説明がつかない。



松田議員

# 追跡討論!

# どうなっとなんで?

## アレコレ決めたその後のハナシ

どうなっとなんで?  
町の防災マニュアル

**問** 各地区ごとの防災マニュアルが必要ではないか。(仙才)

**答** 各地区ごとの防災計画、防災訓練マニュアルが必要。要望があれば職員を派遣し、相談しながら防災計画や防災マニュアルを作成する。(第73号・平成27年12月号掲載)

### 4年経った現状は...

1000年に一度の洪水想定図は来年度に配布予定。ネット公開も検討する。防災マップ・防災マニュアルは県や小松島市を参考に更新したい。(第85号・令和元年12月号)

まだ更新できてないですよ...



これではあかんぞないか!

どうなっとなんで?  
夜道の灯り・防犯灯

**問** 危険なところに防犯灯の新設を。(井出)

**答** 坂本と生名は2カ所移設したが、新設はしていない。必要なところには設置している。

(第73号・平成27年12月号掲載)

### 4年経った現状は...

防犯灯を設置することは、安全安心につながると考えている。町内で要望が多いため、優先順位を決めて、今年度中に設置する。(第85号・令和元年12月号)

一部、設置されたものの...



設置された防犯灯

これでいけるんで?

どうなっとなんで?  
ネット料金の負担

**問** ケーブルテレビ インターネットを使用しない世帯の負担軽減を(井出)

**答** これからの時代はインターネットをもっと利用していくことが必要なので、より利便性を高めて、全世帯での利用を図っていきたい。(第73号・平成27年12月号掲載)

(第73号・平成27年12月号掲載)

### 4年経った現状は...

光ケーブルの料金見直し、年度末までに結論を出したい。(第85号・令和元年12月号)

#### 提示された3プラン

- ・テレビ・電話
- ・インターネット (100MB)
- ・テレビ・電話
- ・インターネット (1GB)

年度が変わったですよ...

いつ結論が出るんで?

### 新たな選挙管理委員会委員決まる

任期満了に伴う勝浦町選挙管理委員会委員と同補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

#### 選挙管理委員

遠藤 智美	野 藤 美 智 美	野 神 美 枝 子	野 神 美 枝 子	野 神 美 枝 子
中里 良	中里 良	中里 幸	中里 幸	中里 幸
中 山	中 山	中 山	中 山	中 山

(敬称略)

### 「議会だよりかつうら」第83号 審査会で奨励賞を受賞

「議会だよりかつうら」第83号が、全国町村議会議長会の第34回広報コンクールにて、編集・デザイン部門の奨励賞をいただきました。

これも、ひとえに日頃より議会広報の取材等にご協力いただいている町民の皆さまのおかげです。ありがとうございます。

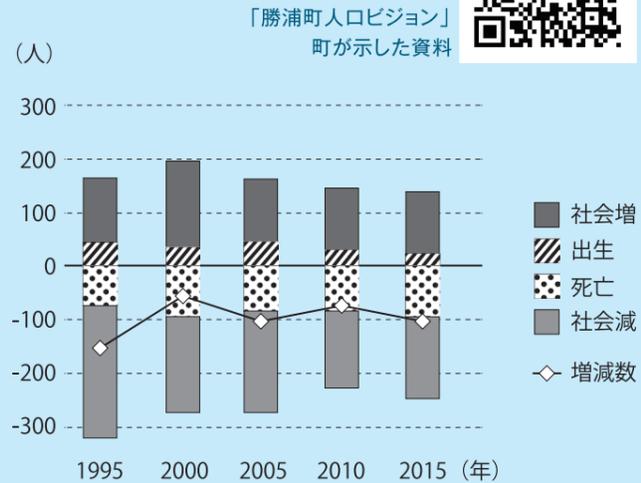


# 概要 OUTLINE

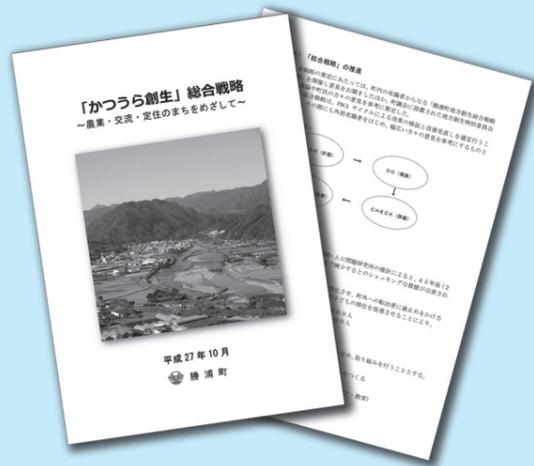
検証をする前に、平成31年度までの「かつうら創生総合戦略」の概要と、総合戦略の重要な因子となる「勝浦町人口ビジョン」についておさらいしたい。

## 勝浦町人口ビジョン

勝浦町人口ビジョンは「出生数の減少による自然減」「若い世代を中心に転出超過による社会減」「少子高齢化の進行が速い」「就業に伴う流出人口が多い」という4つの人口現状を踏まえた上で、「本町における人口の現状を分析するとともに、今後めざすべき将来の方向性と人口の将来展望を提示するもの」として策定された。人口動向だけでなく、出生や雇用・就労の動向も含め多角的な分析を重ね、「人口ビジョンにおける重点課題」「将来の人口展望」という2つの目標を示したもの。



「かつうら創生総合戦略」町が示した資料



## かつうら創生総合戦略

～農業・交流・定住のまちをめざして～

かつうら創生総合戦略は「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、本町における人口の現状と将来ビジョンを踏まえ、5カ年（平成27年度～平成31年度）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものである。「基本目標」「基本方針」「具体的な施策の方向性」「重要業績評価指標（KPI）（※1）」の4つで構成され、外部有識者等からも幅広く意見を聞き、検証と改善見直しを適宜おこなう。本特集後半では、この戦略の肝となる「基本方針」をさらに掘り下げる。

（※1）KPI：Key Performance Indicatorの略で、日本語に訳すと「重要業績評価指標」という意味。KPIとは目標を達成する上で、その達成度合いを計測・監視するための定量的な指標のこと。

# 徹底検証

# かつうら創生 総合戦略

「かつうら創生総合戦略」は、平成27年10月に当時の人口を基に策定。「人口ビジョン」「農業・交流・定住のかつうらを創生」という2つを軸に、具体的な数値目標を示しながら、様々な地方創生に係る事業を展開してきた。令和元年が改定時期であったが、令和3年度に改定予定の「勝浦町総合計画」と共に複合的に進めるための見直しを1年かけて行っている。

勝浦町議会としても、平成27年に地方創生に向けた「地方創生特別委員会」を設置し、6回にわたる住民団体との懇話会や8回の委員会を開催し、6月に提言書を出した。

この間、「かつうら創生」として多くの事業が実施されたが、中には成果に疑問符が付くものや具体的に定住人口増加に寄与した事例などがあつた。

この際、当事者の声を交えながら議会の提言がどのように反映され、事業推進が図られたのかを再点検していきたい。

平成31年度に転出入者均衡人口移動率0を目指す

平成26年度：11人転出  
令和元年度：**45人転出**

未達

若者向け賃貸住宅の建設費補助や家賃助成

建設費補助：累計28戸整備（一戸あたり300万円）  
家賃助成：30年度決算119万円（上限2万円・8人分）

達成

## 移住・定住を進め「ひと」の流れをつくる

町内における賃貸住宅の民間事業者の参入を促そうと、賃貸住宅の建設費補助や入居者に対する家賃助成を行った。

その結果、平成27年に沼江地区に20戸分、令和元年度には石原地区に8戸分のアパートが整備された。

また、建設費補助に合わせて、夫婦・子育て世帯への家賃助成を行ったことで、転入・入居へのサポートとなり、現在においても満室の状態が続いている。

これらの施策は、賃貸住宅の確保や移住者の増加に繋がっているものの、建設費補助として8400万円投じた割に「定住」に向けたアプローチができていないと感じる。

今後は宅地造成や新築・改築に関する補助金と連動した「定住人口」の確保に向けた実効性のある取り組み、仕組みづくりが求められる。

宅地造成は、平成29年に横瀬地区4区画、30年に沼江地区3区画が整備された。令和2年度にも新たに横瀬地区で造成される予定。

2団地の造成、販売はすべて役場職員が行ってきたが、今後は造成工事のコストダウンや販売方法の見直しなど、民間業者のノウハウを生かした事業推進に期待したい。

また、定住人口の増加を目的に平成27年に移住者に対して、平成28年からは定住者に対して新築および住宅購入の補助金を支出している（一戸当たり上限100万円）。

令和元年度までに累計52戸が整備・購入され、居住者の内14軒44人が移住者である。

町内での起業者3件（5年間累計）

**5件**（内、杉の子基金利用4件）

達成

アグリサポートクラブ31年度までに設立

**平成29年設立**

達成

## 「しごと」を増やし安心して働ける仕組みをつくる

平成28年度に4件、令和元年度に1件の起業があり現在も営業中。令和2年度も杉の子基金活用に向けた問い合わせが3件あり、新たな雇用や地域活性化に期待できそうだ。

しかし、経営や雇用計画について新たな展開が見えておらず、起業後のバックアップ体制が脆弱であると言わざるを得ない。今後は起業相談や経営支援について商工会等との連携を強め、さらなる起業や雇用創出に向けたサポート体制の構築に努めてほしい。



令和元年起業「天然こうぼパンウタリ工房」  
大友 香代さん 横瀬

起業にあたり自己資金は用意していましたが、運用費のことを考えると、なるべく初期の支出を抑えたいと思っていました。ですので、起業の補助が頂けるのはとても助かりました。申請書類も、銀行や公庫などのものより簡単です。

この補助金のことあまり周知されていないこと、また中古の器具購入では使えないことが残念だと思えます。

より多くの方に利用が進めばいいですね。



9人の子どもが増えたよ（前川団地）

宅地を探し勝浦町にUターン  
林里紀さん 勝浦町出身（写真左）

阿南市内で宅地を探していたところ、勝浦町で販売されることを知りました。予約していた土地を断り、家族や友人の住む地元勝浦にUターンすることに。

保育園や小学校が近く大変便利ですが、車の往来が多く危険なので、スピードを抑えて走ってほしいと思います。子ども達を安心して遊ばせられる公園が欲しいです。

田舎に理想の生活を求めて  
高橋 真実さん 徳島市出身（写真右）

宅地を探していた時にインターネットに掲載されていて、田舎暮らしとともに通勤距離が希望に叶っていたのが決め手となりました。さらに保育園や小学校が近いのもとても便利です。

多くの雨が降った後、水道水が濁るのを何とかしてほしいです。また、子どもが小さいので、小児科が毎日診察していたら安心なのですが。

18歳以下の子供の人数を同程度確保

平成26年度：682人  
令和元年末：**606人**

未達

公共交通機関のない阿南方面への通学手段の確保

**平成28年**  
バス運行開始

達成

「子育て包括支援センター」の利用者数

平成26年度：3817人  
令和元年末：**2696人**

未達



もっとみんなが集まったらええのになあ…

## 若い世代の希望をかなえる（結婚・出産・子育て・教育）

平成28年、公共交通機関のない阿南方面への通学手段として、議会も提言したバス運行が開始。さらに平成29年、子育て世代への負担軽減や支援を目的に交流施設として「子育て包括支援センター」を設置。しかし、子育て世代への施策をいくつか実現させてきたものの、18歳以下の子供の人数を平成26年と同程度に留めることはできず、結果として、令和元年度末では606人、26年度と比較して76人減となった。

今後は、結婚や出産に対しても手厚いサポートをすることが、真の意味で「子育てしやすいまちづくり」につながるのではないだろうか。

# GOAL & BENEFIT 目標と便益

消防体制の常備化に向けた取り組みの加速

令和元年から徳島市等と協議開始

今後注目

救急救命業務の民間委託

平成 29 年 4 月より日本救急システム(株)に委託

達成

## 個性豊かで魅力ある安全な「まち」をつくる

消防常備化に向けては、以前より住民からの要望や議会で議論された経過がある。救急救命業務を充実させることを目的に、平成 29 年より民間委託を実施。現在は消防活動を含めた常備化に向けて、徳島県が取りまとめ役となり、徳島市と小松島市に加え、上勝町と佐那河内村とともに消防広域化に向けた協議を行っている。

今後は町内での広域化に向けた機運を盛り上げるための組織立ち上げをめざすと町長が議会で答弁している。多くのコストが発生する事業であり、住民ニーズの把握から理解・協力に至るまで、しっかりとした情報共有、情報発信を心掛けてもらいたい。



阿部 恵さん 与川内  
防災士会・自主防災会長

防災士会で開催している講習会に、救急救命士に講師として参加してもらっている。そこで得た知識を各地域での活動に反映することで防災力の強化に繋がっている。

救命士と運転士の詰所が離れているので、組織と建物の一本化による、スムーズな出動態勢の確保をお願いしたい。

# SUMMARY まとめ

## 議長コラム 想生 勝浦 地方創生への議長の想い



### 子供の笑い声が聞こえる町に！

言ってきました。女性が地元で活躍し、安心して結婚・子育てのできる町にしていくことが私の役割でもあり、今後も全力で取り組んでまいります。

みんなで同じ方向に向き、強い想いと行動力で、勝浦の町を笑顔にしましょう。

美馬友子

いかがでしたでしょうか。実績をあげながらも、まだまだ多くの課題が残る「かつうら創生総合戦略」の見直しまであと1年。この特集が、町民のみなさんにとって「地方創生」を改めて考えるきっかけになれば幸いです。

「地方創生」は町や議会の力だけではなく、町民の理解と協力を得て成せるものです。議会議員と共に、勝浦の未来を考えていきたいと思います。







# 一般質問

## 町政の“ここ”が聞きたい！

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

まちづくり	平石山鉱山事業 再開されるなら県などに納得いく説明を求める	井出	P.14
	住宅補助 新築は一旦休止 耐震・改築にシフトする	籾	P.15
	開かれた行政として財政計画を開示する	籾	P.15
	令和元年度、ほぼすべての事業着手	相原	P.16
	勝浦町のゴミの量 県平均値より少ない	花房	P.17
	平石山鉱山 業者に丁寧な説明を求める	瀬戸	P.18
	平石山問題 地震への対応 不安点を意見書に盛り込む	仙才	P.19
	通学路狭あい部 生小南側周辺より用地買収交渉へ	麻植	P.20
	町道認定後の整備 32件中29件が舗装済み	麻植	P.20
農業振興	労力軽減 スマート農業補助 アシストスーツ・乗用モノレール検討	瀬戸	P.18
	スマート農業化 提言があれば支援を検討する	仙才	P.19
教育	複式学級化が想定されるが特色を生かし二校は維持したい	松田	P.21
医療福祉	国保税救済制度 令和3年度から実現に向け取り組む	井出	P.14
	新型コロナウイルス関連 学童・学校・病院への対応で奔走	松田	P.21
防災	町ハザードマップ 2年度末作成	相原	P.16
	昨年購入の救命ボート 浸水家屋での救助を想定	花房	P.17
	既設道路を改良し水害に強い町へ	国清	P.22
	消防常備化推進の会を新年度早々に設立意向	国清	P.22
その他	休職職員 面談等で体調確認と復帰相談をしている	麻植	P.20

過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。  
そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



# いまだ先行きの見えない 平石山鉾山問題

平石山鉾山事業 再開されるなら  
県などに納得いく説明を求める

—— 頂上部には崩落必死の無数の亀裂がある。町長は現地に足を運んだことはあるのか。

野上町長

大雨時、対岸から監視した。

—— 2月19日に住民説明会が開催され、町内外から170人も集まり、2時間半にわたり話し合いが行われた。今回を含め昨年の4月と7月の説明会に、町長の出席がないのはなぜか。

町長

民間の経済活動に国が認可をし、勝浦川漁協と係争中であるからだ。しかし、町長として安心・安全が脅かされるならば、土砂搬入に反対する。

事業再開されるならば、県や業者に納得のいく説明を求めるとともに、町の不安を国に対して意見書として出したい。

—— 「異常気象による豪雨や大地震などに、鉾山法など、今ある法律は対応できていない。新たな法律ができるまでは、盛土事業を凍結すべきだ」との声があった。

また、4300名を超える署名は、町長として安全を守る先頭に立って欲しいとの

町民の願いである。これにどう答えるのか。

町長

裁判が確定すれば、業者から直接説明を聞きたい。その中で、町としての判断を決めていきたい。

国保税救済制度 令和3年度から実現に向け取り組み

—— 国保税の値上げについて、「これ以上、上がると払えない」と多くの町民から問い合わせがあった。1年前に一税の公平性に配慮しつつ、救済制度の研究をしていく」と町長は答弁している。

国保税は、前年の所得で課税される。コロナ騒動で仕事をなくす人が見られる今こそ、救済制度が必要ではないのか。

町長

申請減免について他町村の動向

## その他の質問

「CO<sub>2</sub>削減のゴミ処理の検討を」  
当面は生ゴミを燃やさない方式で。

も踏まえ、令和3年度からの実現に向けて取り組んでいく。

い で み ち こ  
井出 美智子 議員



上部崩落の恐れがある平石山鉾山

# 総合戦略見直しで変わる 住宅建築補助制度

**住宅補助 新築は一旦休止  
耐震・改築にシフトする**

—— 新築住宅建築補助は定住政策に大きな成果を上げている。

また、勝浦町は徳島市、小松島市、阿南市と隣接し、津波の心配がないことを売りにベッドタウン化をPRしてきた。

しかし、新年度では予算化されていないが、どのような根拠で廃止されたのか。

**大久保政策監**

新築住宅補助は「かつうら創生総合戦略」に基づいて実施してきたが、来年度が戦略の改訂時期にあたり、各施策の見直しを行なっている。

住宅施策については、耐震、リフォームなどの安全・安心事業へシフトすることにし、新築助成については一旦休止することにした。

—— 大きな施策の見直しである。地方創生特別委員会等で、もっと議論すべきでなかったか。

**政策監**

2月4日の特別委員会の時点では、まだ説明できる段階ではなかった。今後は早く説明するように努めたい。

—— 今までの対象者と

の公平性はどうするのか。

**山田副町長**

当初から5年間の事業として進めてきたが、町民の要望を聞きながら、年度途中でも何らかの形で対応したい。

この質疑で納得いく答弁がなく、町民からの要望もあつたことから、修正動議につながった。

**開かれた行政として  
財政計画を開示する**

—— 今後、病院改築や星谷橋の架け替え、介護保険などによる負担増で財政の悪化が懸念される。一番厳しくなると予想されるのはいつ頃か。

**副町長**

令和8年から9年頃に基金が減少し、厳しくなる予想である。

—— 財政計画を公表し、情報公開を通じて町民の理解を得ることが必要ではないか。

**副町長**

基本的に開かれた行政として公開していく。

## その他の質問

地籍調査、法人設立  
地域活性化協会の運営



新築住宅建築補助を利用した住宅



しとみ こういち  
**筧 公一** 議員

# インフラ整備で災害に強い町へ 恐竜・6次産業にも注力

令和元年度、ほぼすべての事業着手

——各会計の見込みと新年度予算の概況と基本方針は。

野上町長

令和元年度、ほぼすべての事業で何らかの着手ができた。令和2年度予算については、災害に強いインフラ事業等に予算をつけている。恐竜によるまちづくり、6次産業化施設整備などに本腰を入れる。



「恐竜のまち かつうら」をめざして（恐竜の里・立川）

また、勝浦病院の改築事業、役

場庁舎の非常電源の整備、ハザードマップを作成、小・中学校へのタブレット端末の整備などに力を入れる。

——町道等改良の実績と予定について

海川建設課長

令和元年度は維持補修工事56件、2600万円程度、改良工事は12件で2580万円程度の実績を見込んでいます。

2年度の予算は前年度並みで、要望箇所の取りまとめは6月末で予定している。

町ハザードマップ 2年度末作成

——町防災ハザードマップの作成予算が計上されているが、作成予定は。

岡本参事兼総務防災課長

6月に業者委託、12月～1月頃作成予定で、町のホームページ掲載も検討している。

——令和2年度、勝

浦病院の入院・外来を増やす施策は。

笠木病院事務局長

入院、外来ともに改革プラン並みの目標数値を設定している。

地域連携室の活用、外来での内視鏡検査や健康診断枠を増やし、新規患者の獲得をめざしたい。

また、基礎疾患のある患者の重症化を防ぎ、住民の健康管理にも寄与していきたい。

——簡易水道事業の主な施策について。

松本上下水道課長

経営戦略の進捗は計画を上回っており、事業の財政健全化が進んでいる。

町営化移行では、棚野久国地区や星谷地区で説明会を予定している。

国民健康保険勝浦病院  
改革プラン



## その他の質問

町債の推移について  
柑橘の状況について  
みかん栽培の注意点  
有害鳥獣の駆除状況

あいほら きくお  
相原 喜久男 議員

# 水防活動用ボート導入 運動公園等で訓練を実施したい

昨年購入の救命ボート

浸水家屋での救助を想定

救命ボートは、どのように運用するのか。

岡本参事兼総務防災課長

昨年購入し、役場の裏の備蓄倉庫に保管している。水防活動として、家屋へ浸水した場合など、消防団員が取り残された人を救出するために使用する。星谷の運動公



空気を注入した水防活動用ボート

園等で救命ボートを使った訓練を実施したい。

災害時の備蓄品、特に非常食の量や種類は十分か。

参事兼総務防災課長

地域防災計画の南海トラフ地震対策の中で、町内の避難者は950人と想定、食糧は1日2食として1900食が必要だ。飲料水は1日3リットルとして、500ミリのペットボトルが6本必要になるため5700本必要となる。現在、食糧1万1669食、飲料水1280本が各地区と役場に備蓄されている。今後、不足分を計画的に備蓄していく。

現在は備蓄していないが、乳幼児や要配慮者向けの食糧について、関係者の意見を聞きながら検討して

いきたい。

勝浦町のゴミの量

県平均値より少ない

町民が排出するゴミの量は？

中瀬住民課長

1人当たり1日663グラムで、県平均が946グラムと比べると283グラム少ない。

1年間に発生する焼却ゴミの量と費用は。

住民課長

平成30年度実績で1026トン、費用は約4100万円である。

分別ステーションがない時と比べると、平成18年度が1284トンで258トン減量、ま

た資源ごみが平成18年度は79トン、平成30年度が115トンで分別ステーションの効果が出て

## その他の質問

ふるさと納税について  
地方創生総合戦略について  
平石山問題について

分別ス

テーションの活用方法について、分かりやすい説明書が必要でないか。

住民課長

今後、説明資料の作成に向け努力したい。

はなふさ かついち  
**花房 勝一** 議員

# 農業従事者の高齢化対策 身体的負担軽減への手立て

労力軽減 スマート農業補助

アシストスーツ・乗用モノレール検討

—— 農業従事者の高齢化が進む中、力仕事が多く重労働だと聞く。アシストスーツへの補助はできないのか。

河野農業振興課長

労力軽減につながるスマート農業の推進と捉えている。

アシストスーツは町単事業のメニューに加えることが可能と考えるが、予算の範囲内で支援できるように、調査検討をしたい。

農業振興課長

乗用モノレールの新設は助成対象で、既存のモノレールに乗用タイプを取り付ける場合は、対象に加えるか検討中である。

平石山鉦山

業者に丁寧な説明を求める

—— 平石山残土処理について、土砂の受け入れを行っている残土処分場等の許可が令和2年6月30日に期限が切れる。更新申請があれば、5月初めに県から意見を求められるが、どうするのか。

野上町長

事業更新にあたり、業者に町や地域住民への丁寧な説明を行うよう求めていきたい。土壌基準に適合する土砂の搬入が適正に実施されるよう、県に検査を進めてもらう。

また、大雨、風水害等において



電力不使用・空気で動くアシストスーツ

スマート農業  
ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと

—— 収穫から出荷の負担軽減として、モノレール設置に対して補助があるが、乗用モノレールへの転換にも補助できないか。

## その他の質問

沼江バイパスの進捗状況  
デマンドバス、タクシーの件

せと なおいち  
瀬戸 直一 議員

# 町の基幹産業である農業 スマート化は進むのか

スマート農業化

提言があれば支援を検討する

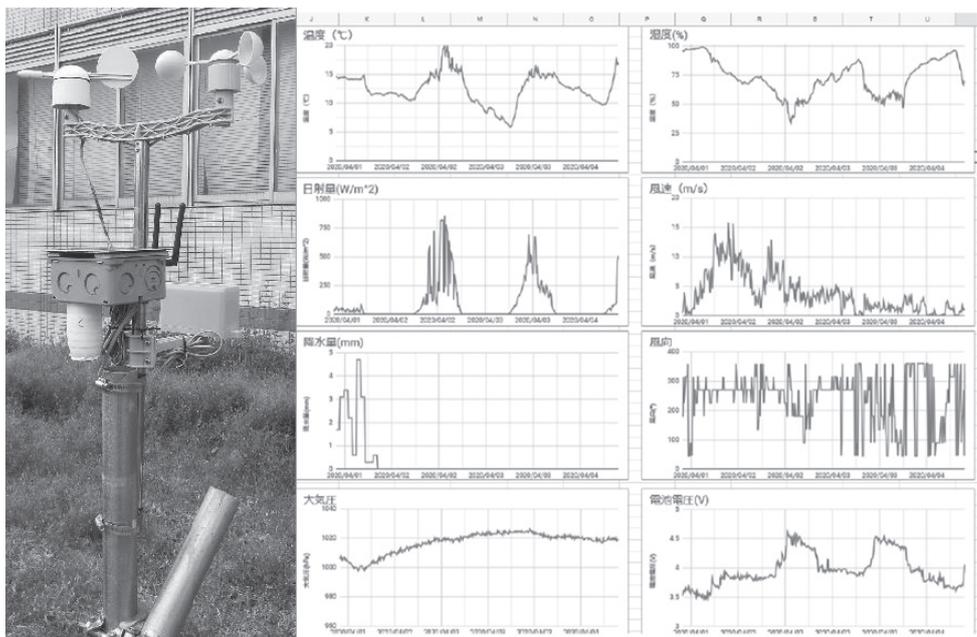
野上町長

職員時代に農作業の省力化に

——スマート農業とは、ロボット

向け、貯蔵庫内で使用するセイロ

ト技術とかICTを活用して省力化や高品質生産を実現する新たな農業。自宅から、みかん貯蔵庫の温度、湿度情報の取得や、貯蔵庫窓の開閉制御、また鶏舎内の鶏の状態監視などの要望がある。実現するには農業用の情報ネットワークが必要。新しい視点でチャレンジしてはどうか。



スマート農業IoTセンサー（左）と計測データ（右）

昇降機の開発に携わった経験がある。提言があれば支援を検討する。

**平石山問題 地震への対応  
不安点を意見書に盛り込む**

——南海トラフ巨大地震では震度6が予測され、平石山鉾山の残壁は崩落する恐れがある。100メートルの高さから岩石が落下すれば、盛り土構造に損傷を与える。県に出す意見書にはこのことを指摘してほしい。

町長

国からは、盛り土計画自体について地震対応はできていると説明を受けているが、上部の崩落については、心配がある。外部要因による盛り土の崩壊が予測されるので、県への意見書に盛り込んでいきたい。

## その他の質問

- 光ケーブルの活用
- 発災時対応の通信強化
- 地籍調査の促進
- 広域農道の保守
- 空家等対策協議会の運用

せんざい まもる  
仙才 守 議員

# 狭あい道路の修繕 町民にとって安全な道になったか

通学路狭あい部

生小南側周辺より用地買収交渉へ

—— 徳島上那賀線中角工区  
について、県に対して要望活動  
は。

海川建設課長

10月7日、東部県民局を訪問し、  
徳島上那賀線中角工区について早  
期完成を要望した。県としては用

地買収ができれば拡幅を進めて行  
くとの返答であった。

—— 令和2年度の工事計画箇所  
は。

建設課長

生比奈小学校南側周辺より交渉  
を進める。また、距離に関しては  
確定していないと聞いている。

町道認定後の整備

32件中29件が舗装済み

—— 近年、町道認定後、整備が  
できていない箇所がある。地域住  
民が安全になったと感じている  
か。

建設課長

認定した段階で、安全かつ容易  
に車両等が通行できていると認識  
している。

—— 未舗装道路については今後  
どのように考えているのか。

建設課長

平成21年度から30年  
度までに32件を認定し、  
29件が舗装済みであり、  
3路線が未舗装となっている。

地元の要望も考慮しつつ、優先  
順位については考えていく。

休職職員 面談等で

体調確認と復帰相談をしている

—— 休職職員の現在の人数  
は。

岡本参事兼総務防災課長

3人が休職している。

—— 対応はどのようにしている  
か。

参事兼総務防災課長

所属課長が月1、2回のペース  
で電話あるいは面談等を実施し、  
体調や仕事の復帰について聞き取  
りしている。

—— 休職中の給与の支払いは。

参事兼総務防災課長

休職になると8割  
の給与計算となり、1年を経過す  
ると無給となる。

参事兼総務防災課長

休職している職員が復職できる  
ように、本人の相談を受けて必要  
な場合は医師とも協議をしたい。

—— ではどうする？

参事兼総務防災課長

休職している職員のサポートは  
もちろんだが、役場においても相  
談しやすい職場づくりや、健康相  
談等を行っていききたい。



生比奈小学校前



お え ひ で き  
麻植 秀樹 議員

# 児童減少が予想される未来 小学校運営への課題

複式学級化が想定されるが

特色を生かし二校は維持したい

—— 出生数の推移を見ると、今後多くの課題が出るのが予想される。小学校運営への課題は。

市川教育長

児童数の推移をみると複式学級



少子化で運営が大変な運動会

が予想される。しかし、生比奈、横瀬両小学校の特色を生かした教育を施し、勝浦中学校で一緒になる形は維持したい。

—— 横瀬小学校の児童数が来年度をピークに減少に転じる。地域の将来を見越した小規模校として魅力ある学校づくりのために、地域住民と共に運営していく組織づくりが必要ではないか。

教育長

令和2年度からは地域住民に参画してもらう「コミュニティスクール（学校運営協議会）」を立ち上げる。

コミュニティスクール  
（学校運営協議会）

教育委員会が個別に指定する学校（指定学校）ごとに、当該学校の運営に関して協議するためにおかれる機関のことである

地域と学校の相互協力を強化した、勝浦の良さを生かした学校づくりに取り組みたい。

新型コロナウイルス関連

学童・学校・病院への対応で奔走

—— 学校休業により配慮されるべき児童、生徒へのサポート体制構築に向けての取り組みは。

教育長

各学校の先生方が児童生徒へのきめ細かな対応を心掛け、特に高校受験を控えていた中学校3年生への不安解消に努めた。

木村福祉課長

学校休業の受け皿となる学童クラブと協議をし、午前からの受け入れを検討したが、指導員の確保等が難しく午後からの受け入れとなった。

—— 学校休業は役場、病院職員にも影響を及ぼしている。雇用主として職員への聞き取り、

それに伴う勤務シフト等への配慮はあったのか。

岡本参事兼総務防災課長

3月11日に全ての職員に対して、学校休業の影響による、やむを得ない理由の場合は特別休暇として休むことができる旨の通知をした。

笠木病院事務局長

病院も特別休暇の取得について3月11日に全職員に通知した。交代勤務のある看護部門は、可能な範囲で勤務シフトに反映している。

まつだ たかし  
松田 貴志 議員

# 既設道路を改良し 災害時でも冠水しない道路へ

既設道路を改良し水害に強い町へ

——町内の幹線道路には、洪水時に冠水する箇所が多くあり、さらに増水すると中角地区の馬越樋門が縮まり、町内の交通が遮断される。その役割と必要性は。

海川建設課長

中角地区の樋門は、勝浦川や生名谷川が増水した時、中角集落への流入を阻止する重要な施設である。

——町には、過去に今山橋南詰めから西岡の北側の堤防を利用して生名に繋ぐ路線やバイパス構想もあったが、どう認識しているのか。

野上町長

西岡から中角の農地を通り、生名に繋ぐバイパス計画は聞いたことがあるが、実現できなかった。

——今、県道新浜勝浦線の改良工事が進んでいる。今後、星谷橋の架け替え工事計画のなかで、周辺整備として、新たに岩屋谷川に



改築予定の星谷橋

橋を架け、災害時でも通行できる「勝浦環状線」とする構想がある。町長は公約で「災害時でも確実に通行できる道路整備」を打ち出しているが、どのような構想なのか。

野上町長

私がイメージしているのは、県道徳島上那賀線や新浜勝浦線など

既設の道路を改良し、災害時でも冠水しない、安全に通行できる道路である。星谷橋も架け替えにより今後、重要な橋となる。

消防常備化推進の会を  
新年度早々に設立意向

——今、県の指導で、消防の広域化と常備化に向け、2市3町村で協議が進んでいる。町長は「勝浦町が先頭に立って取り組む」と再三明言し、町民の理解を得るために、消防・防災関係者による「消防常備化推進協議会（仮称）」を早急に設置すると答えてきたが、どうなったのか。

野上町長

町内の機運を盛り上げるためにも、新年度早々に「消防常備化推進協議会（仮称）」を設立したい。

## その他の質問

避難所の表示看板は  
活性化協会について  
恐竜を活かしたまちづくり  
交流イベントの再考

くにきよ いちじ  
国清 一治 議員

# ふっちゃんけどうなの？議会広報

議会広報モニターアンケートの意見・感想です。  
さらに伝わりやすい紙面づくりや議会活動ができるように活かしていきます。



答弁が「検討する」の議題  
その後どうなったのか気になる

今後も住んで良かったと  
思える町になるように  
議論して欲しい

町民目線の内容で  
理解できた

町民と議員さんがもっと交流し  
意見を交せたらいいと思う

平石山鉱山の件が気になるが  
知る機会があまりないので  
引き続き載せて欲しい

幅広い世代が気になっていることを  
載せて欲しい

巻末企画

「ONE TEAM」は良い

分かりにくい用語がある

稼	山	井	中	相	出	徳	前	大	前
勢	野	上	里	原	葉	山	田	久	田
郁	浩	垂	ス	愛	義	洋	節	保	正
子	史	由	ミ	子	和	子	子	巖	仁
坂	与	横	中	棚	生	星	中	今	沼
本	川	瀬	山	野	名	谷	角	山	江

(敬称略)

各地域からご協力いただいている議会広報モニターですが、今年度は次の皆様にご協力いただきま

令和2年度の  
広報モニター決定！

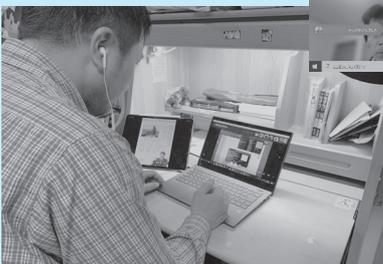


## 新型コロナウイルス対策 広報委員会をネットで実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月17日に実施した議会広報の編集会議は、インターネットを利用した。

会議には、インターネットを介したテレビ会議サービスを利用し、議員それぞれがパソコンやタブレットを使用。編集画面を共有しながら、それぞれの自宅において意見が交わされた。

3密を避けると同時に、勝浦町のインターネット回線の品質と非常時のテレビ会議の有効性が確認できた。



会議の画面（上）と  
実際の様子（左）

地域に生きる

# ONE ワン・チーム TEAM

元気な勝浦に、もっと活気を。



会長  
石倉美枝子さん

## 勝浦の地域医療を考える会

どんな  
グループ

地域医療機関との協力・連携を推進し、地域医療のあり方や住民の健康で安心・安全な地域づくりを考え、実践していくために平成28年12月8日に発足しました。

地域住民とともに高齢者の尊厳が保たれ、自立生活支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域医療を住民の目線で考えていく必要性を感じました。

どんなこと  
しよんで

勝浦病院では、以下のような活動を行っています。

- ① 春秋に中庭の除草作業
- ② 小松島西高等学校勝浦校と連携して、花壇の整備
- ③ おひな様やクリスマスツリーの飾り付け
- ④ クリスマスコンサートのボランティア活動
- ⑤ 勝浦病院運営委員会での提言

さらに、勝浦町企画交流課とコラボして「地域医療を考える特別講演会」「徳島大学医学部地域医療研究会現地研修事業」への参加を行っています。



今後の  
展望

地域医療になくてはならない勝浦病院の令和4年4月の新病院開院に向けて、保健・医療・福祉・介護それぞれの機関とも連携して、活動を続けていきたいと考えています。



### 町民の「笑顔」募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」!

詳細は下記 URL または QR コードを  
チェック!



<https://formok.com/f/1chm9gnl>

今回の新型コロナウイルス問題が発生して以来、学校の休校措置や卒業式、入学式の規模縮小など、県内の様々な行事が延期または、中止、自粛になっている。  
今春は子供たちにとっては思い出を作る機会が失われている。  
皆様には、不用不急の外出を避け、3つの密を避け落ち着いて生活をしましょう。  
毎日の手洗い、うがいを欠かさずに、咳エチケットを守りきちんと行っていきましょう。  
今日も皆様の一日が良き日となりますように……。

(瀬戸直一)

## 編集後記

